

DXD-16

'PTP Mode' Explained

メニュー 1.1 では、DXD-16 のリファレンスソースの 1 つとして 'PTP モード' が提供されています。このドキュメントでは、PTP Mode を選択することの意味について説明します。

• Why is it called 'PTP MODE'?

たとえば、ビデオ同期などのリファレンスを選択すると、DXD-16 は通常そのマスター リファレンスにロックします。ただし、PTP の場合は、BMCA (ベスト マスター クロック アルゴリズム) によってどのデバイスがマスターになるかが決定されるため異なります。'PTP Mode' を選択すると、DXD-16 は外部マスターにロックしますが、ネットワーク上でより優れたクロックが見つかった場合のみです。それ以外の場合は、DXD-16 自体がグランドマスターになります。そのため、単に 'PTP' ではなく 'PTP Mode' と呼ばれます。

• PTP Slave (Follower)

DXD-16 を PTP スレーブにするには、リファレンスとして 'PTP Mode' を選択し (メニュー 1.1)、Priority 1 の値を BMCA を緩めて外部グランドマスターに追従するのに十分な高さに設定します。

• PTP Master-Only

メニュー 1.1 で 'PTP Mode' 以外のリファレンスを選択すると、DXD-16 のポートは自動的に Master-only になります。つまり、BMCA がネットワーク上の他の機器を Grandmaster として選択した場合、そのネットワークに接続されている DXD-16 ポートは PASSIVE になります。

DXD-16 がグランドマスターになることを保証するには、Priority 1 をネットワーク上の他のデバイスよりも低く設定します。

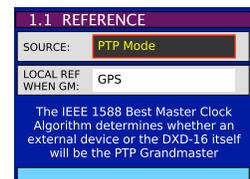
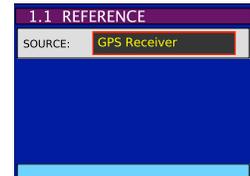
• PTP Master with a GPS reference (GPS option required)

メニュー 1.1 REFERENCE では、GPS を選択する 2 つの方法があります：

1. ソースとして GPS レシーバー を選択します
2. ソースとして PTP モードを選択し、'LOCAL REF WHEN GM' として GPS を選択します。

どちらの場合も、DXD-16 は BMCA でグランドマスター選択の上位に位置付けられます。ただし、ネットワーク上の別のデバイスがグランドマスターとして選択された場合は、次のようになります：

- ◆ GPS レシーバーをソースとして使用すると、DXD-16 ポートはパッシブになり、ネットワーク同期が失われます。
- ◆ PTP モードをソースとして使用すると、DXD-16 は PTP スレーブとなり、ネットワーク同期を維持します。



• Conclusions

- DXD-16 を **PTP SLAVE** にして外部のグランドマスターに従うには、PTP モードが必要です。
- DXD-16 を **PTP BOUNDARY CLOCK** として使用するには、PTP モードが必要です。
- DXD-16 を **PTP GRANDMASTER** (外部 BNC ソースをリファレンスにせず) にするには、グランドマスター ステータスを失ってもネットワークとの同期が維持される PTP モードを使用する必要があります。BMCA を獲得するには、ネットワーク上の他のデバイスよりも Priority 1 を低く設定してください。